




## 災害時におけるボランティア支援に関する協定を締結



写真左から、橋本ライオンズクラブ中山秀之会長、橋本市社会福祉協議会 荻田一郎会長、伊都高野山ライオンズクラブ濱田史郎会長

災害時におけるボランティア支援に関する協定は、災害ボランティアセンターを支援するものです。災害ボランティアセンターは、社会福祉協議会が災害時に立ち上げるもので、被災地の支援に入るボランティアを支援し、ボランティア活動が円滑に行われるよう手助けするものです。南海トラフ巨大地震の危険性が叫ばれる中、本社会福祉協議会でも災害研修を行い職員の高めたり、災害ボランティアの募集を行うなど対策に努めていますが、いざ大規模災害が発生すると社会福祉協議会だけの力では足りません。そのような中で、ライオンズクラブ様のご支援を頂ける本協定は、誠に大きな力になると考えています。

# 令和7年度 橋本市社会福祉協議会 事業計画

市社会福祉協議会では市民のみなさまを始めボランティア、行政、福祉保健関係団体など、様々な個人や団体のみなさまのご協力をいただきながら地域の福祉課題の解決に取り組み、地域福祉を推進する中核的な役割を果たせるように「 だんの  らしの  あわせ」をみんなでつくるまちづくりを進めてまいります。

新年度の主な事業を次のとおり紹介します。

## 福祉のまちづくりの推進

### ● 社協講座事業

高齢者の健康と趣味の活動など生きがいづくりを目指し市内在住の60歳以上の方を対象に、毎月1回の講座と6つのクラブ活動を行い、生涯学習・仲間づくりの場として開講します。

※受講生募集は既に終了しております。

### ● いきいきシニアリーダーカレッジ [橋本校] (県社会福祉協議会受託事業)

高齢者がそのもてる力を十分に発揮し、「誰もが生きがいをもち、健康で自立した生活をおくれる長寿社会づくり」のため、地域活動をリードする人材を養成。

※受講生募集は既に終了しております。

### ● 生活支援体制整備事業 (橋本市受託事業)

平成27年4月介護保険法の改正に伴い、今後、高齢者を支える環境は大きく変わっていきます。

高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らしていける体制づくりについて、市民のみなさま、行政、関係機関と連携しながら、各地域において住民のみなさまが主体的に行う支え合い・助け合い活動の体制を推進していきます。



地域高齢者食堂「kitchen 学文路」の様子

### ● 福祉団体支援事業 (事務局機能)

老人クラブ連合会、身体障害者連盟、障害児者父母の会、ボランティアサークル連絡協議会、赤十字奉仕団の事務局としてそれぞれの自主的な活動を支援します。

### ● こども食堂事業 (橋本市受託事業)

子どもを対象に食事の提供等を通じた居場所づくりを行う事業を推進することにより、子どもが地域とつながり、健やかに育つ環境整備を促進します。本事業は橋本市からの委託事業で市と連携して行います。

### ● 生活困窮者支援等のための地域づくり事業

(橋本市受託事業)

重層的支援体制整備事業の中の生活困窮者等のための地域づくり事業を市より受託します。既に行っている心配ごと相談やまちの法律家なんでも相談といった住民のニーズ・生活課題の実態把握や既存の事業等、地域住民の活動支援・情報発信等を対象事業として強化します。

### ● 社会福祉協議会会長表彰

社会福祉の推進に多年にわたり功勞のあった方々を表彰し、その功績と苦勞にむくいるとともに、社会福祉の増進に資する。

\* 橋本市長表彰

\* 橋本市社会福祉協議会会長表彰

## 福祉教育の推進

小・中学校の児童・生徒を対象に福祉教育の学習、様々な体験・交流を通して、自らが地域を支える一人であることの理解を深め、地域活動へとつなげていきます。

- ・福祉協力校モデル指定校事業
- ・キャップハンディ体験事業
- ・障がい者理解のための学習、講話
- ・点字教室



高齢者疑似体験の様子



## ボランティア・市民活動の推進

### ●橋本市市民活動サポートセンター（市指定管理事業）

- ・市民活動等に関する相談事業（随時）
- ・NPO 相談会
- ・市民活動を行う者を対象とした研修会等の開催
- ・ボランティア活動保険加入手続き
- ・市民活動を行う団体等の交流「おはなしサロン」
- ・活動拠点としての施設利用の充実および促進
- ・利用登録団体の加入促進
- ・サポートセンター情報誌の発行（年6回）
- ・ホームページの運営

### ●ボランティアセンター事業

- ・夏のボランティア体験事業（7～8月）
- ・ボランティア体験フェア（年1回）
- ・災害ボランティアセンター設置運営訓練
- ・ボランティア活動保険加入促進
- ・フードドライブ事業
- 4月12日（土）、7月12日（土）  
10月18日（土）、12月13日（土）
- 時間は何れも8:30～9:30



ボランティア体験フェアの様子

### ●災害ボランティアセンター事業

- ・災害ボランティアセンターの設置・運営
- ・災害ボランティア登録
- ・災害時対応訓練



災害時対応研修の様子

## 福祉サービス事業

### ●福祉サービス利用援助事業

（県社会福祉協議会受託事業）

判断能力が不十分な方や日常生活に不安のある方を対象に契約に基づき、福祉サービスの利用援助や金銭管理等を行い、日常生活を支援します。判断能力が低下しても、日常生活が過ごせるよう本人の意志を尊重しながら、自分らしく暮らしていけるよう応援します。

### ●生活福祉資金貸付事業

（県社会福祉協議会受託事業）

収入が少なく必要な資金の融資を受けることが困難な世帯を対象に必要な最低限の資金を貸付けることで、自立支援を行います。

### ●総合相談事業

- ・心配ごと相談  
毎月第1月曜日、市保健福祉センター  
隔月第3金曜日、高野口地区公民館  
時間は何れも 13:00～16:00
- ・まちの法律家相談 第3木曜日  
※時間は 13:00～15:00  
※会場は橋本市保健福祉センター2階
- ・福祉まるごと相談  
※生活困窮者等のための地域づくり事業  
「どこに相談したらよいかかわからない。誰にも相談できずに一人で悩んでいる。困りごとが複数ある。」など、相談内容に応じた適切な窓口や専門機関等と連携し問題解決に向けて伴走的な支援を行います。

### ●福祉器具等貸出事業

歩行が困難や他の交通手段では外出困難な障がい者や高齢者等の方の外出支援を行うため車いすや電動リフト付き自動車を貸出します。

- ・車いす
- ・電動リフト付き自動車 2台  
（普通車、軽自動車）

## 在宅福祉サービス事業

### ●訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

要介護認定を受けた利用者に対して、在宅生活を支援するためホームヘルパーによる食事や入浴、排泄等の身体介護と生活援助サービスを提供します。

### ●居宅介護支援事業（ケアプラン）

要介護認定を受けた高齢者に適切なケアプランを立て、自立した生活を支援します。



# 令和7年度 橋本市社会福祉協議会 予算

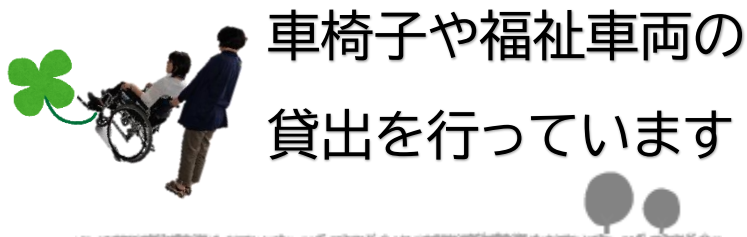
2025年度の予算額は、収入科目別です。支出はサービス区分ごとの事業費を掲載。

## ■収入 (単位：円)

科目	金額
会費収入	5,000,000
寄付金収入	201,000
経営経費補助金収入	57,250,000
受託金収入	35,389,000
事業収入	1,589,000
介護保険事業収入	27,401,000
受取利息配当金収入	3,000
その他の収入	4,000
その他の活動による収入	2,668,000
前期末支払資金残高	26,372,000
合計	155,877,000

## ■支出 (単位：円)

科目	金額
人件費支出	105,734,000
事業費支出	17,709,000
事務費支出	4,123,000
共同募金配分金事業費	1,100,000
助成金支出	5,388,000
負担金支出	1,177,000
その他の活動による支出	8,614,000
予備費	12,032,000
合計	155,877,000



## 車椅子や福祉車両の貸出を行っています

### ① 車椅子

市内在住の方で、一時的に車椅子を必要とする方。利用期間は、原則2週間程度もしくは、1か月以内です。

### ②③ 福祉車両

市内在住の障がい者、高齢者、歩行が困難で車椅子を利用されている方。利用期間は、原則3日以内です。費用は無料ですが、使用燃料のみ負担していただきます。希望する日の3か月前から1週間前までに申請が必要です。何れも利用前にお電話で空き状況等をご確認ください。



▲介助用と自走用の2タイプがあります。



▲車種「フリード」 助手席が外まで降りて乗り降りしやすいタイプです。



▲車種「タント」 車椅子ごと乗れるタイプです。

日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

## 5月は赤十字運動月間です

活動資金へのご支援を、よろしくお願ひします

### 日赤和歌山

日本赤十字社 和歌山県支部  
Japanese Red Cross Society

2024年2月

令和6年能登半島地震災害対応活動

南海トラフ地震  
への対応整備を進めています。

赤十字活動資金へのご協力をお願いします。

日本赤十字社は、一刻を争う災害や紛争地域での救護をはじめ、病気で苦しむ人のサポートなど、国内外で様々な人道支援活動を行っています。これらの活動は、みなさまからお寄せいただく活動資金によって支えられています。

本市においても、毎年5月1日～31日までを赤十字運動月間として、区長、自治会長さんのご支援をいただきながら、市民のみなさまに活動資金へのご協力をお願いします。赤十字の活動にご理解とご協力をお願いします。

#### ■お問合せ

日本赤十字社和歌山県支部 橋本市地区  
(事務局：市社会福祉協議会)  
電話33-0294

## 災害ボランティア登録者募集しています！

橋本市社会福祉協議会では、災害時に円滑な支援活動ができるよう、事前の災害ボランティア登録制度を行っています。登録を希望される方は、災害ボランティア登録申込書に必要事項を記入のうえ提出ください。登録された方には、災害ボランティアに関する情報提供を行い、災害ボランティアとして支援活動の内容がわかるよう講座や訓練などを実施します。

#### (登録条件)

災害ボランティアに登録できる方は、橋本市に在住、在勤、在学または拠点を有し、登録しようとする年度の4月1日現在で満18歳以上の方。

#### (登録申込書)

QRコードから申し込みいただくか、橋本市社会福祉協議会ホームページから申し込みください。なお、本会窓口でも申し込み可能です。

#### お問合せ先

橋本市社会福祉協議会 地域福祉課

電話：33-0294 FAX：33-4377

(平日8:30～17:15 土・日・祝は除く)



個人用



団体用



## 5月 相談予定カレンダー

相談事業名	相談内容	相談日	相談時間
心配ごと相談	日常生活での悩みごとや心配ごとなど	5月2日(金) 7日(水)	13:00~ 16:00
福祉防災相談	地震に備えて…。防災出前講座も OK	5月15日(木)	
まちの法律家相談(予約制) ※予約受付期間 5/1(木)~5/8(木) ※原則、電話予約(先着2名まで) ※キャンセルの場合は必ずご連絡ください。	相続・遺言・成年後見制度など (原則として制度のしくみなど)	5月15日(木)	13:00~ 15:00
福祉まるごと相談	日常生活上の困りごとに幅広く相談に応じます。 ◆失業による生活再建、入学・就学費 ◆介護に関すること ◆相談先がわからない心配ごとなど	月~金曜日	9:00~ 17:00

※上記の相談場所はいずれも橋本市保健福祉センター(心配ごと相談は金曜日開催がある場合、高野口地区公民館)。

相談に関するお問合せ・予約は、市社会福祉協議会 ☎33-0294まで

## 善意のお気持ち

### 【遺志金】

名古屋寛一様

亡母 名古屋敏子様 の遺志として

匿名 10,000円

匿名 10,000円

### 【一般寄付】

匿名 10,000円

げんきらりー火曜クラブ様 1,984円

元気ラリー水曜教室様 2,423円

紀北ブロック橋本支部 GG 協会様

4,100円

### 【使用済み切手・ハガキをいただきました】(敬称略)

大西健一/碓睦子/木全満知子/池之側喬/  
辻眞理/

和歌山県退職公務員連盟橋本支部/向井米穀店/  
紀和産業協業組合/紀見北地区公民館/ケアハウス  
幸楽の里アネックス/グリーンガーデンケアプラン  
センター/介護老人保健施設グリーンガーデン橋本  
中島つなぐ会/隅田地区公民館/匿名6名

### 【食材等の提供をいただきました】

てまり農園様

青ねぎ

隅田地区区長会様

粉ミルク

市社会福祉協議会では、市民のみなさまからの「地域の  
ために使ってほしい」という思いのこもった金銭や物品等  
をお預かりして、地域福祉のために大切に使用しています。  
みなさまのあたたかい善意をお待ちしています。

(株) オークワ スーパーセンター橋本店様

精米、素麺、椎茸、砂糖、カレーうどん等

(株) オークワ オーストリート橋本彩の台店様

精米、米パック、うどん、そば、缶詰等

徳明寺様

大根、コーヒー、キャベツ

簗原直子様

のり

宗教法人 眞言命光秘流

寶瀧山 命光不動尊 寶来寺様

お菓子

東洋羽毛関西販売(株)様

素麺

学文路地区区長会様

醤油、缶詰、粉ミルク、ポテトチップス等

匿名 9名

和風菓子、スープ、缶詰、洗剤、お菓子、

カップ麺、のり、野菜ジュース、粉ミルク、

小麦粉、はちみつ、お茶漬、グラタン、

お茶、コーヒー、じゃがいも、さつまいも等

